

第3章 メインウィンドウの機能

この章では、「Network Utility」のメインウィンドウの機能について説明します。

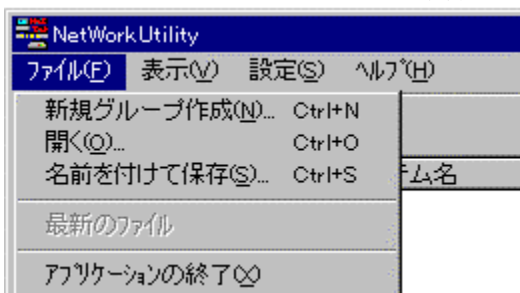
3.1. メニュー概要

ここでは、メインウィンドウのメニューの概要について説明します。

1. 「ファイル」メニューを使用する
2. 「表示」メニューを使用する。
3. 「設定」メニューを使用する。
4. 「ヘルプ」メニューを使用する。

3.1.1. 「ファイル」メニューを使用する

ここでは、メインウィンドウにあるメニューの「ファイル」で実現する機能について説明します。



新規グループの作成

グループリストウィンドウに新しいユーザーグループを作成します。作成したグループに機器を登録することで、ネットワーク機器の管理をより効率的に行うことができます。

開く

現在の「情報ファイル」から、以前に保存されていた「情報ファイル」に変更します。

【参考】デフォルトの情報ファイル名は、「StartUpFile.kdf」です。「Network Utility」は終了時に現在の情報を自動的にこのファイルに上書き保存しますので、現在の機器情報を他の PC で利用する場合や保存しておきたい機器情報がある場合には、「ファイル」「名前をつけて保存」を実行して専用のファイルとして管理されることをお奨めします。

名前をつけて保存

「情報ファイル」に名前を付けて保存します。取得したユーザーが作成したグループ情報やそのグループに登録されている機器情報を3種類の保存形式で保存することが可能です。

1. アプリケーション形式 (*.kdf)

「Network Utility」の情報ファイル形式であり、この形式で保存されたデータは別のクライアント PC にコピーすることで同一のグループ環境を実現します。

2. CSV 形式 (*.kdf)

取得したネットワーク機器のデータを、“,”で区切られたファイル形式に保存します。CSV 形式で保存したファイルは、Microsoft Excel で開くとセルごとにデータが収められた形で表示することが可能です。

【注意】Microsoft Excel で開いた場合に、一部のデータがセルの形式により正しく表示されない場合があります。これは、Microsoft Excel がファイルを開く場合に自動的にセルの形式を決定しているために発生していることが原因ですので、この場合はテキストエディタをご使用ください。

3. Text 形式 (*.txt)

取得したネットワーク機器のデータが、タブで区切られている形式のファイルです。メモ帳などのテキストエディタで開くことが可能です。

【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 3」

最新のファイル

「Network Utility」が以前起動時に使用した「情報ファイル」を最大で4つまで表示します。

「ファイル」「開く」を実行して、以前に保存した情報ファイルを指定することで、指定された情報ファイルで「Network Utility」が動作します。この場合には、指定したファイル名が表示されます。

【注意】インストール直後は、情報ファイルが存在しないためグレーアウト表示になります。

【注意】情報ファイルの削除が行われた場合は下記のエラーメッセージが表示されます。また、内容の変更などが行われた場合は、アプリケーションエラーが発生する場合があります。このような場合に弊社は一切の責任を負うことはできませんので、情報ファイルの共有などの際にはご注意ください。

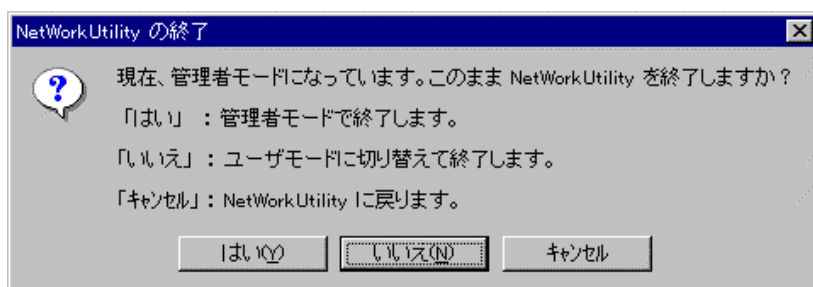


アプリケーションの終了

「Network Utility」を終了します。管理者モードで起動している場合とユーザーモードで起動している場合で終了方法が異なります。

管理者モードの場合は、終了時にユーザーモードで次回「Network Utility」を起動するかどうかを選択することが可能です。管理者モードで終了する場合は、下記のメッセージが表示されます。

「いいえ」を選択すると次回「Network Utility」起動時にユーザーモードとなります。



ユーザーモードで終了する場合は、下記のメッセージが表示されます。



「Network Utility」が終了する時に、自動的に現在の情報がデフォルトの情報ファイル「StartupFile.kdf」に書き込まれます。

3.1.1.1. 情報ファイルを使用したネットワーク管理

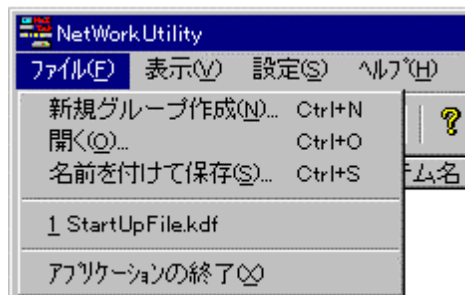
ここでは、情報ファイルの機能と情報ファイルを使用したネットワーク管理について説明します。

「Network Utility」は、ユーザーが作成したグループ情報やそのグループに登録されている機器情報を管理するために次回起動時にも、記憶しておくように作成しています。

これらの情報をファイルにしたのが情報ファイル「StartUpFile.kdf」です。

この、情報ファイルは「Network Utility」の起動時に読み出され、「Network Utility」の終了時に上書き保存されます。

次回起動時には、下記のような画面で表示されます。



情報ファイルを使用したネットワーク管理

複数のクライアント PC で「Network Utility」を使用する場合、1 台のクライアント PC でグループの作成を行い、その情報ファイルを保存して、別のクライアント PC でその情報ファイルを使用した場合には、グループ登録など全ての情報が移植されます。

このように情報ファイルを有効活用することによって、どのクライアント PC から同様の環境でネットワーク機器の管理を行うことができるようになります。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 3」

【注意】 情報ファイル「StartUpFile.kdf」は、「Network Utility」終了時に自動で上書き保存されますので特定の機器情報にてネットワーク管理される場合は、トラブルを防ぐために必ず別名のファイルで保存したものを専用に作成して管理いただけますようお願いいたします。

3.1.2. 「表示」メニューを使用する

ここでは、メインウィンドウにあるメニューの「表示」で実現する機能について説明します。



ステータス

選択されているネットワーク機器の詳細情報を表示します。

【注意】デバイスリストウィンドウでデバイスを選択するとメニューが有効になります。

詳細は、「3.1.2.1 ネットワーク機器のステータス表示について」をご参照ください。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 1」

プリンタステータス

PRINTER-MIB に応答する機器を選択した場合には、そのプリンターの状態を表示します。

【注意】デバイスリストウィンドウでデバイスを選択するとメニューが有効になります。

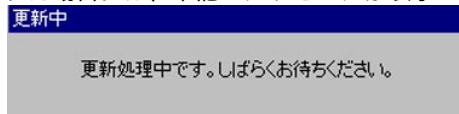
詳細は、「3.1.2.2 プリンターのステータス表示について」をご参照ください。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 2」

最新情報に更新

メインウィンドウ上の情報を最新の情報に置き換えます。

最新情報に更新が実行された場合には、下記のメッセージが表示されます。



【注意】最新情報に更新中は、「Network Utility」への操作は一切実行できません。

【注意】表示の更新が行われた場合に、正常に稼働しているデバイスにも関わらずX印表示される場合があります。これは、ネットワークの負荷が大きいためデバイスからの応答に時間がかかる場合が原因として考えられます。この場合には、再度「表示」「最新情報に更新」を実行してみてください。

自動更新の設定

自動更新を有効にする / しない及び更新間隔 (1-60min) の設定が行えます。

詳細は、「3.1.2.3 自動更新の設定について」をご参照ください。

検索

ネットワーク上の機器を検索して、デバイスリストに追加することができます。

また、検索したネットワーク機器を製品グループに追加することもできます。

詳細は、「3.1.2.4 検索の使用方法について」をご参照ください。

【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 1」

ステータスバー

ステータスバーの表示 / 非表示を設定します。

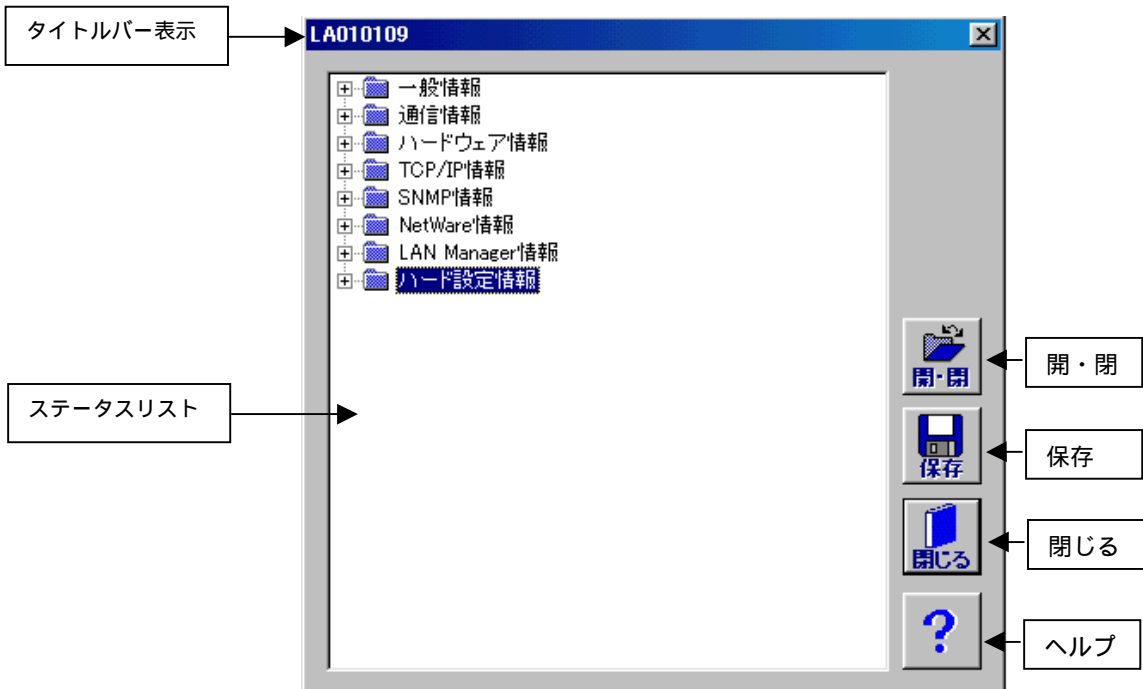
ツールバー

ツールバーの表示 / 非表示を設定します。

【注意】 デバイスリストウィンドウでデバイスを選択する / しない場合で表示されるツールバーが異なります。

3.1.2.1. ネットワーク機器のステータス表示について

ステータス表示を行いたいLANカード・オプションを選択して、「表示」「ステータス」もしくは右クリックのメニューでステータス表示を実行すると、LANカード・オプションの情報を表示します。



タイトルバーの表示

「デバイスリストウインドウ」で選択されたデバイスのシステム名が表示されます。

ステータスリスト

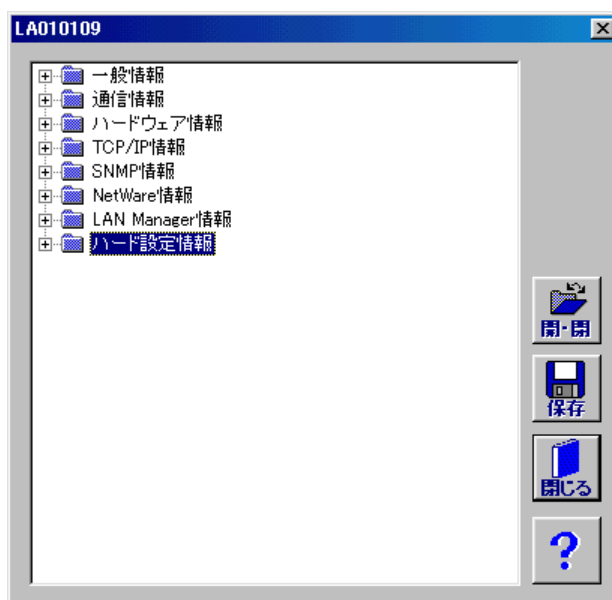
「ステータスリスト」には、「デバイスリストウインドウ」で選択されたデバイスの情報が各項目ごとに表示されています。

その他に表示されるデバイスは、MIB- で取得できる情報のみ表示されます。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 1 及び 2」

リストの開閉

リストに表示されている全てのフォルダを一括で、開いたり閉じたりすることができます。



データの保存

取得されたデータをファイルに保存することができます。

保存形式は、text 形式と CSV 形式を選択できます。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 3」

ステータスを閉じる

表示されているステータスを閉じます。

ヘルプの起動

ステータスに関するヘルプが起動します。

3.1.2.2. プリンターのステータス表示について

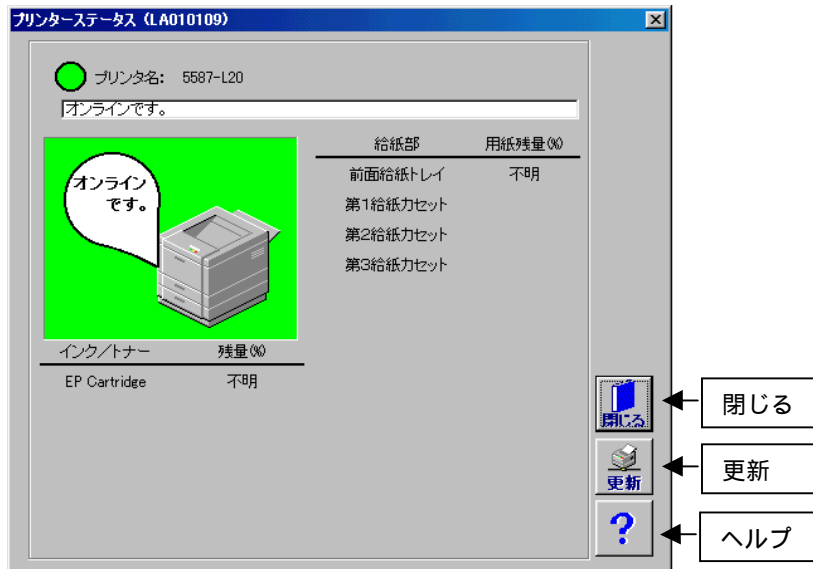
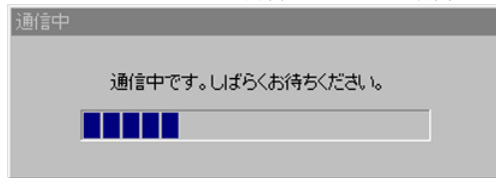
ステータス表示を行いたいプリンターをデバイスリストで選択して、「表示」「プリンターステータス」もしくは右クリックのメニューでプリンターステータスを実行すると、HostResourceMIB及びPrinter-MIBを使用してプリンターの情報を取得し表示します。また、プリンターのステータス表示の更新を行いたい場合には、更新ボタンをクリックすることで情報を更新して表示します。

プリンターステータスを取得できる機器について

プリンター情報を取得できるプリンターは LAN カード・オプションに接続されているプリンターに限ります。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 2」



【例】LAN カードオプションが 5587-L20 に装着されている場合




プリンターステータスには以下のようなステータスの表示があります。

オンライン/オフライン

ダイアログ上の表示は、プリンターのオンライン/オフライン状況を表しています。

表示が、 (緑) の場合はオンライン、 (赤) の場合はオフラインを意味します。
(HostResourceMIB DeviceStatus / PrinterMIB PrinterStatus)

HostResourceMIB DeviceStatus / PrinterMIB PrinterStatus に答えないデバイスの場合は、 (グレー) を表示します。

【注意】プリンターがアイドル状態の時は、オンライン LED が消灯してオフライン状態に見えますが、プリンターの情報としてはオンライン状態ですので、表示はオンラインと表示されます。

プリンター名

プリンターの名称を表示します。(HostResourceMIB DeviceDescr)

プリンターエラーステータス

プリンターの現在の状態を表示します。(PrinterMIB PrinterDetectedErrorState)
また、エラーステータスの状態にあわせて、下記のような画面が表示されます。

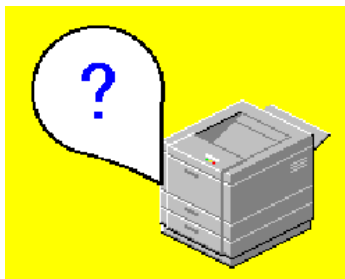


<紙切れの場合>



<トナー切れの場合>

PrinterMIB PrinterDetectedErrorState に答えないデバイスの場合は、下記の画面のように表示されます。



カセット/トレイ情報

プリンターに装着されているカセット/トレイの名称と用紙残量が表示されます。
(PrinterMIB InputName / InputModel / InputMaxCapacity / InputCurrentLevel)

トナー/インク情報

プリンターに装着されているトナー/インクの名称とトナー/インク残量が表示されます。
(PrinterMIB MarkerSuppliesDescription / MarkerSuppliesMaxCapacity / MarkerSuppliesLevel)

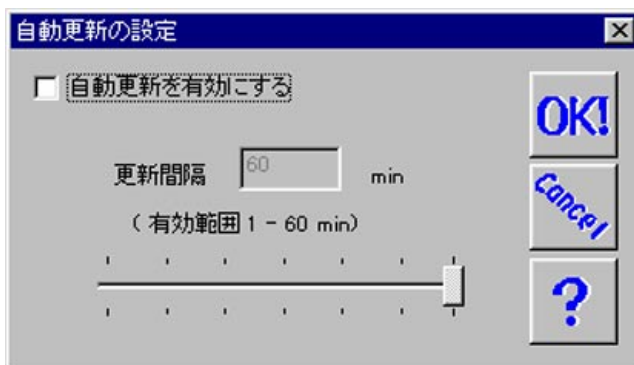
【注意】「Network Utility」は、HostResourceMIB 及び Printer-MIB を使用して情報を取得しますが、プリンターによっては搭載されている MIB が異なりますので取得できない場合は、「不明」などの表記となることがあります。

【注意】プリンターMIBに対応していないデバイスの場合は、下記が表示されます。



3.1.2.3. 自動更新の設定について

「デバイスリストウィンドウ」の表示の更新を自動で行う場合の更新間隔を設定します。



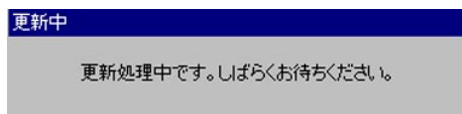
自動更新を有効にする

「デバイスリストウィンドウ」を自動的に更新します。デフォルトは無効に設定されてます。

更新間隔 (sec)

自動更新を行う間隔を設定します。
設定範囲は、1-60 min です。

自動更新が実行された場合には、下記のメッセージが表示されます。



【注意】 自動更新中は、「Network Utility」への操作は一切実行できません。

【注意】 自動更新は、「デバイスリストウィンドウ」に表示されているすべてのターゲットと通信を行います。
このため、「デバイスリストウィンドウ」に表示されるターゲットが多い場合は、ネットワーク上に多数のパケットが送受信されるので、自動更新の間隔を短くしないようにしてください。特に、「Network Utility」はルータを越えた機器とも通信できますのでルータを越えた機器とユニキャストによる通信が多数ある場合もご注意ください。
また、現在稼働していない機器が多数ある場合には通信タイムアウト時間が機器の数に比例して増加するため自動更新に時間がかかる原因となります。長期間稼働していない機器に関しては、デバイスリストから削除することをお奨めします。

【注意】 自動更新が行われた場合に、正常に稼働しているデバイスにも関わらずX印表示される場合があります。これは、ネットワークの負荷が大きいためにデバイスからの応答に時間がかかる場合が原因として考えられます。この場合には、「表示」「最新情報に更新」を実行してみてください。

3.1.2.4. 検索の使用方法について

ネットワーク上の MIB-1 に対応した機器を検索して、デバイスリストに追加もしくは製品グループに追加することができます。

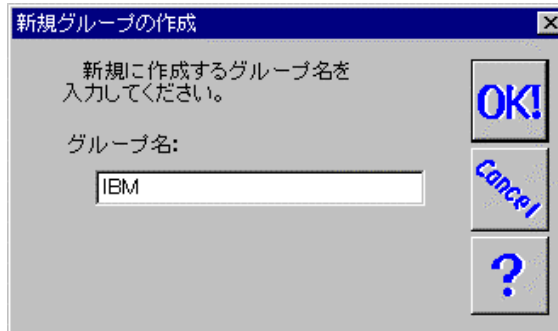
【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 1」

IPアドレスによる検索

検索する機器に設定されている IP アドレスで機器を検索します。IP アドレス指定したターゲットの LAN カード・オプションが検索されると、デバイスリストに追加されます。



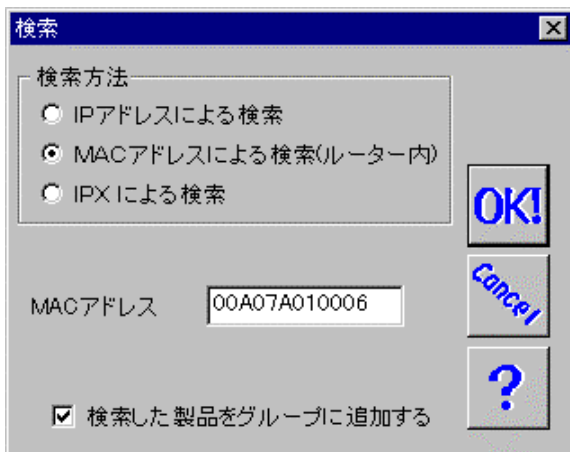
「検索した製品をグループに追加する」にチェックが入っている場合は、「新規グループ追加」画面もしくはユーザーグループが作成されている場合は「グループの選択」画面が表示され、グループリストウィンドウに任意の製品グループとして追加ができます。



【注意】ルータを越えたデバイスを検索した場合は、任意のグループに追加してください。検索したデバイスを任意のグループではなくデフォルトグループに追加することもできますが、デフォルトグループに追加した場合は、「自動更新」もしくは「表示」「最新情報に更新」を実行してもユニキャストを使用した通信が行われないため、ルータを越えたデバイスの情報が更新されません。

MAC アドレスによる検索 (同一ルータ内検索)

検索する機器のMACアドレスで機器を検索します。MACアドレスを指定したターゲットのLANカード・オプションが検索されると、デバイスリストに追加されます。



【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 1」

【注意】MACアドレスによる検索の場合TCP/IP環境では、ルータ内のみ検索が可能です。ルータを越えたLANカード・オプションは、ブロードキャスト通信を使用していますので検索できません。

【注意】ユーザーモードの場合は、IPアドレスが設定されていないLANカード・オプションは、IPアドレスを設定できないため検索しリストに追加することはできません。

「検索した製品をグループに追加する」にチェックが入っている場合は、「新規グループ追加」画面もしくはユーザーグループが作成されている場合は「グループの選択」画面が表示され、グループリストウィンドウに任意の製品グループとして追加ができます。

IPXによる検索

検索する機器のMACアドレスと、その機器のあるネットワーク番号を指定して、検索します。

【参考】ネットワーク番号を指定しない場合は、同一セグメント内の検索となります。

セグメント：ルータなどを越えないLAN環境

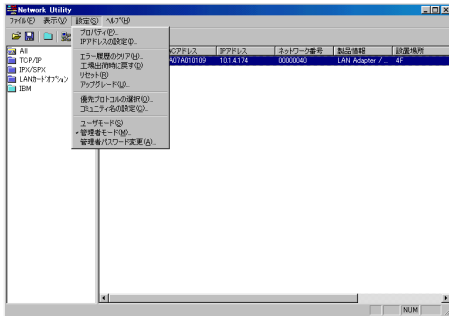
「検索した製品グループに追加する」にチェックが入っている場合は、「新規グループ追加」画面もしくはユーザーグループが作成されている場合は「グループの選択」画面が表示され、グループリストウィンドウに任意の製品グループとして追加ができます。

ユーザーグループに追加した機器は、次回起動時から自動的に検索して追加した製品グループにリスト表示されます。

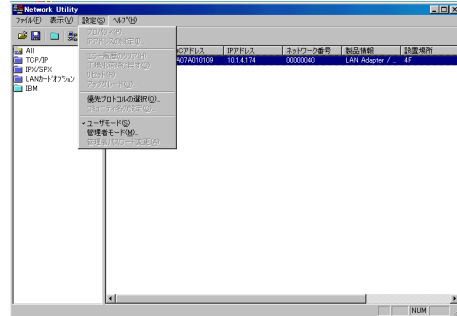
3.1.3. 「設定」メニューを使用する

ここでは、メインウィンドウにあるメニューの「設定」で実現する機能について説明します。

設定メニューは、管理者モード / ユーザーモードで実行できるメニューが異なります。ユーザーモードは、設定を実行できないように機能を制限しています。

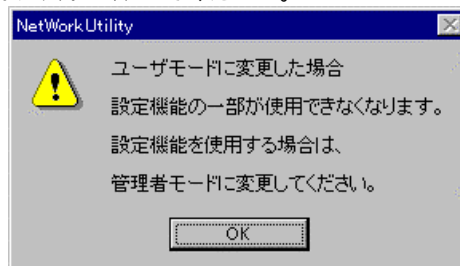


< 管理者モードの場合 >

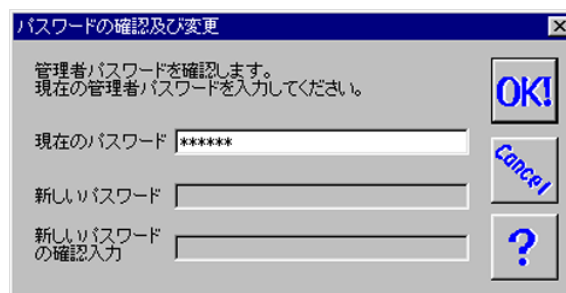


< ユーザーモードの場合 >

【注意】「Network Utility」をインストール時に管理者モードでインストールした場合は、管理者モード / ユーザーモードをインストール時のパスワードを使用して切り替えることができますが機能が制限（設定は行えません）されますのでご注意ください。ユーザーモードに切り替えた場合に、管理者モードに変更し直す場合はインストール時に設定したパスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを忘れた場合は、「Network Utility」を再インストールしてください。



【注意】「Network Utility」をインストール時にユーザーモードでインストールした場合は、管理者モードに切り替えるには、下記画面にて専用パスワード「ITPA」の入力が必要となります。ユーザーモードから管理者モードへの切り替えは設定変更の権限を与えることになりませんので、管理者の方が行っていただけますようお願いいたします。



また、「LAN カード・オプション」のグループで表示される LAN カード・オプションのみ設定が行えます。



プロパティ（管理者モード時のみ）

LAN カード・オプションの設定用ページが表示されます。

「Network Utility」で設定を行うためには、以下の設定のいずれかが必要です。

< TCP/IP で通信する場合 >

予め LAN カード・オプションにクライアント PC と同一セグメントの IP アドレスを設定されていること / ルータを越えた先に LAN カード・オプションが存在する場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを予め正しく設定されて IP アドレス検索によってデバイスリストに追加してあることのどちらが必要となります。

< IPX/SPX で通信する場合 >

予め LAN カード・オプションが NetWare を有効（もしくは待機モード）に設定されている必要があります。（「Network Utility」で優先プロトコルが TCP/IP の場合には、「Network Utility」からも設定が行えます）

詳細は、「3.1.3.1 LAN カード・オプションの設定について」をご参照ください。

IP アドレスの設定（管理者モード時のみ）

同一セグメント内の LAN カード・オプションに対して、IP アドレスの設定を変更することができます。詳細は、「3.1.3.2 IP アドレスの設定について」をご参照ください。

エラー履歴のクリア（管理者モード時のみ）

LAN カード・オプションのエラー履歴をクリアできます。

詳細は、「3.1.3.3 エラー履歴のクリアについて」をご参照ください。

工場出荷時に戻す（管理者モード時のみ）

設定を工場出荷時設定に戻します。

詳細は、「3.1.3.4 工場出荷時に戻すについて」をご参照ください。

リセット（管理者モード時のみ）

LAN カード・オプションに対して、リセットを行うことができます。

詳細は、「3.1.3.5 リセットについて」をご参照ください。

アップグレード（管理者モード時のみ）

LAN カード・オプションにファームウェアのダウンロードを行うことができます。

詳細は、「3.1.3.6 アップグレードについて」をご参照ください。

優先プロトコルの選択

LAN カード・オプションが TCP/IP、IPX/SPX 共に通信可能な場合どちらのプロトコルを優先して使用するかを選択できます。

【注意】「Network Utility」がインストールされている PC の NIC 設定で TCP/IP、IPX/SPX が予めインストールされている必要があります。

詳細は、「3.1.3.7 優先プロトコルの選択について」をご参照ください。

コミュニティ名の設定（管理者モードのみ）

「Network Utility」で SNMP 通信するために必要な CommunityName を設定します。

詳細は、「3.1.3.8 コミュニティ名の設定について」をご参照ください。

【注意】LAN カード・オプションに設定されている SNMP COMMUNITY NAME と異なる設定を行うと LAN カード・オプションと通信（情報の取得 / 設定）が行えなくなります。

ユーザーモード

「Network Utility」をユーザーモードで使用します。

ユーザーモードの場合は、一部の機能が使用不能になります。

管理者モード

「Network Utility」を管理者モードで使用します。

管理者モードで使用するためには、パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワード変更（管理者モード時のみ）

「Network Utility」の管理者パスワードを設定できます。

3.1.3.1. LANカード・オプションの設定について

設定変更を行いたいLANカード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「プロパティ」を実行するか、右クリックで「プロパティの設定」を実行することによりLANカード・オプションに関する設定を行うことができます。

設定変更を行える項目及びプロパティシートは、機種及び優先プロトコルにより異なります。

【注意】「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。

設定変更を行えるプロパティシート

優先プロトコル	一般情報	SNMP	TCP/IP	NetWare	LANManager	ハードウェア設定
TCP/IP				×		
IPX/SPX				×		

プロパティシートの動作

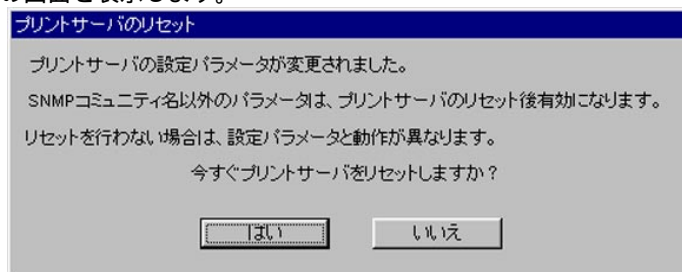
まず、プロパティシートで設定できる項目を説明する前に、各ボタンをクリックしたときの動作を説明します。

1. 「設定ボタン」をクリックしたときの動作について
2. 「キャンセルボタン」をクリックしたときの動作について
3. 「更新ボタン」をクリックしたときの動作について

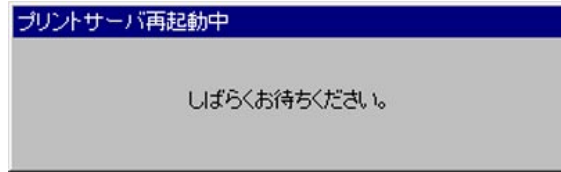
1. 「設定ボタン」をクリックしたときの動作について

(1) 「設定ボタン」は、「設定」「プロパティ」を実行されてから開かれたシート（クリックして表示されたシート）に関して、設定が変更されていなくても「設定ボタン」をクリックすることでLANカード・オプションにパラメーターを設定します。

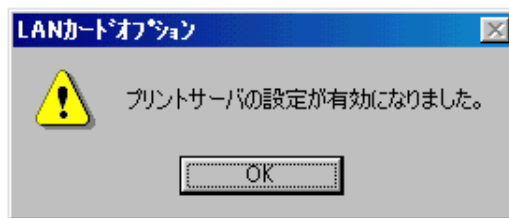
「設定ボタン」をクリックすると、LANカード・オプションにパラメーターを設定してから下記の画面を表示します。



- (2) ここで、「SNMP」シート以外のシートのパラメーターを変更した場合は、「はい」をクリックして LAN カード・オプションをリセットすることによって、設定されたパラメーターが有効になります。「はい」をクリックすると、LAN カード・オプションをリセットします。



- (3) LAN カード・オプションが正常に起動すると、設定したパラメーターが有効となりますので下記の画面が表示され、メインウィンドウにもどります。



- (4) 「いいえ」をクリックした場合は、下記メッセージが表示されますので設定変更したシートが「SNMP」シートの場合を除いて、メインウィンドウのデバイスリストから設定変更を行った LAN カード・オプションを選択して、設定のリセットを実行してください。

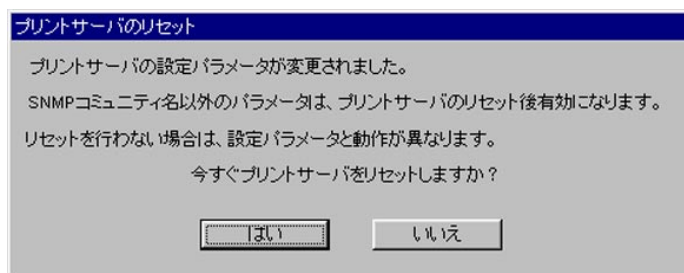


【注意】 LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないと LAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

2. 「キャンセルボタン」をクリックしたときの動作について

- (1) 「キャンセルボタン」は、「設定」「プロパティ」を実行されてから開かれたシート（クリックして表示されたシート）に関して、パラメーターが変更されて「更新」ボタンがクリックされない限りは、現在 LAN カード・オプションに設定されているパラメーターを確認したい場合にプロパティシートをクローズするための機能を果たしています。

- (2) 「SNMP」シートを除く他のシートでパラメーターが変更されて「更新」ボタンをクリックした場合に、「キャンセル」をクリックすると下記のメッセージを表示します。

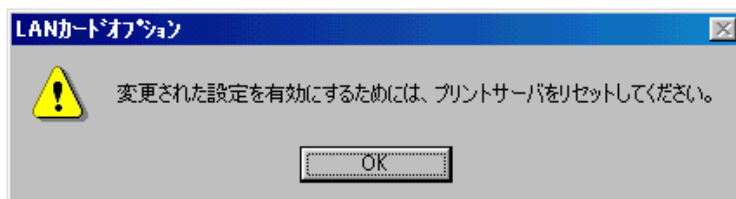


この画面が表示された場合の動作に関しましては、「1. 「設定ボタン」をクリックしたときの動作についての(2)」以降をご参照ください。

3. 「更新ボタン」をクリックしたときの動作について

「更新ボタン」は、「設定」「プロパティ」を実行されてから開かれたシート（クリックして表示されたシート）のそれぞれのシートで、パラメーターが変更した場合に「更新ボタン」が有効になります。

「設定ボタン」が開かれたシート全てを設定するのに対して、更新ボタンはパラメーターを変更したシートのみパラメーターを、LANカード・オプションの内部パラメーターに書き込みます。パラメーターを変更し、「更新ボタン」をクリックすると下記のメッセージが表示されます。



この画面でOKをクリックした後に、「キャンセルボタン」をクリックした場合の動作は、「2. 「キャンセルボタン」をクリックしたときの動作について」の(2)以降をご参照ください。「設定ボタン」をクリックした場合の動作は、「1. 「設定ボタン」をクリックしたときの動作について」をご参照ください。

3.1.3.1.1. プロパティについて

LAN カード・オプションの設定

次に、LAN カード・オプションで設定を行えるプロパティシートについて説明します。

- 1 . 「一般情報」シートで設定する。
- 2 . 「SNMP」シートで設定する。
- 3 . 「TCP/IP」シートで設定する。
- 4 . 「NetWare」シートで設定する。
- 5 . 「LAN Manager」シートで設定する。
- 6 . 「ハードウェア設定」シートで設定する。

【注意】「Network Utility」で設定を行うためには、以下の設定のいずれかが必要です。

< TCP/IP で通信する場合 >

予め LAN カード・オプションにクライアント PC と同一セグメントの IP アドレスを設定されていること / ルータを越えた先に LAN カード・オプションが存在する場合には、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを予め正しく設定されて IP アドレス検索によってデバイスリストに追加してあることのどれかが必要となります。

< IPX/SPX で通信する場合 >

予め LAN カード・オプションが NetWare を有効 又は、待機モードに設定されている必要があります。(「Network Utility」で優先プロトコルが TCP/IP の場合には、「Network Utility」からも設定が行えます)

1 . 「一般情報」シートで設定する

このシートでは、LAN カード・オプションの一般情報の設定を行うことができます。LAN カード・オプションを管理者の方が管理するために必要な情報を設定するためのシートです。

システム名

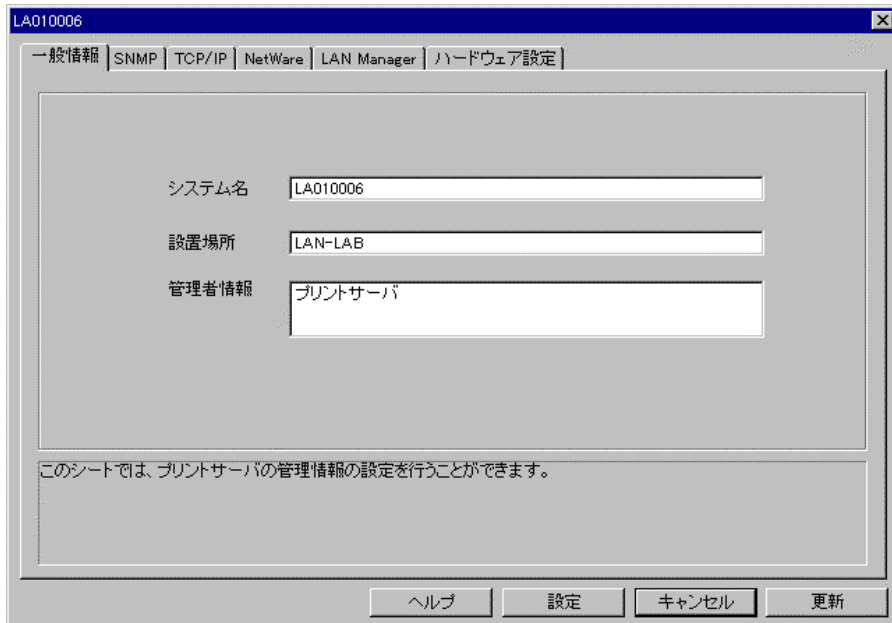
このユーティリティーで認識されるシステム名です。(MIB- sysName)

設置場所

LAN カード・オプションの設置場所をメモとして残すことができます。(MIB- sysLocation)

管理者情報

LAN カード・オプションの管理者情報をメモとして残すことができます。(MIB- sysContact)



必要な情報を入力して、「設定ボタン」をクリックしてください。「設定ボタン」をクリックすると、LAN カード・オプションにパラメーターを設定してから「プリントサーバーのリセット」画面が表示されますので、「はい」をクリックして設定したパラメーターを有効にしてください。

- 【注意】「更新ボタン」を実行した場合には、LAN カード・オプションの内部パラメーターは変更されますが、動作パラメーターとは異なりますので、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。
- 【注意】LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないとLAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

2. 「SNMP」シートで設定する

このシートでは、LAN カード・オプションの SNMP 設定を行うことができます。「Network Utility」で LAN カード・オプションと SNMP 通信するために必要な CommunityName を設定します。CommunityName には 2 種類あり、一つは LAN カード・オプションに設定を行うための WriteCommunityName で、もう一つは LAN カード・オプションの情報を取得するための Read Only CommunityName となっています。

アドミニストレータ（半角英数字 63 文字以内）

LAN カード・オプションの SNMP コミュニティ名 (Write CommunityName) を設定できます。

コミュニティ名 1（半角英数字 63 文字以内）

LAN カード・オプションの SNMP コミュニティ名 (Read Only CommunityName) を設定できます。

コミュニティ名 2（半角英数字 63 文字以内）

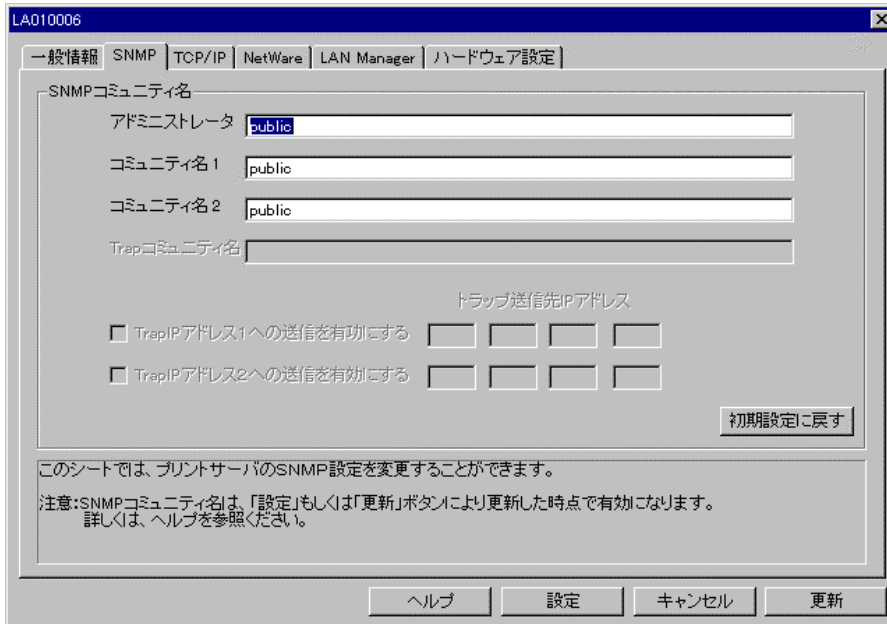
LAN カード・オプションの SNMP コミュニティ名 (Read Only CommunityName) を設定できます。

初期設定に戻す

LAN カード・オプションの SNMP コミュニティ名を工場出荷状態に戻します。

- 【注意】コミュニティ名を変更し、「設定」「更新」ボタンをクリックした場合には、その時点で設定が有効になります。(リセットの必要がありません)

「Network Utility」は、SNMP によって管理されているため、LAN カード・オプションのコミュニティ名を変更した場合は、「Network Utility」のコミュニティ名の設定を変更した値に合わせる必要があります。

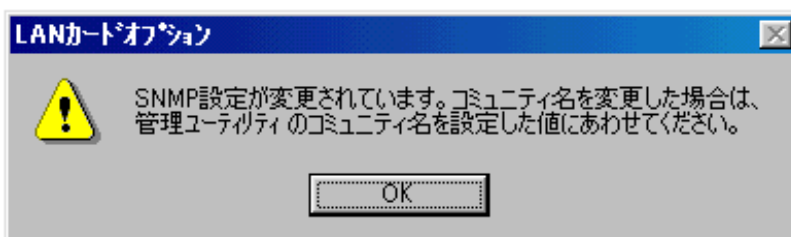


- 【注意】コミュニティ名のみを変更した場合（他のシートで変更を実施していない場合）は「更新」ボタンをクリックすることにより、その直後に有効になります。



この場合は、「SNMP」以外のシートを変更していないので、基本的には「設定」ボタンではなく「キャンセル」ボタンをクリックすることを推奨します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると下記のメッセージが表示されます。



「Network Utility」は、SNMPによる通信で管理しているためLANカード・オプションに設定されているコミュニティ名と合わせてください。

他のシートで設定パラメーターを変更した場合は、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。

3. 「TCP/IP」シートで設定する

このページでは、LAN カード・オプションの TCP/IP 設定の変更を行うことができます。

ARP, PING による IP アドレスの設定を有効にする

同一セグメント内において、ARP+Ping による IP アドレスの設定ができるようになります。

DHCP サーバーを使用する

DHCP サーバーが存在する環境では、LAN カード・オプションの TCP/IP 設定を DHCP サーバーから取得することができるようになります。

BOOTP サーバーを使用する

BOOTP サーバーが存在する環境では、LAN カード・オプションの TCP/IP 設定を BOOTP サーバーから取得することができるようになります。

RARP サーバーを使用する

RARP サーバーが存在する環境では、LAN カード・オプションの TCP/IP 設定を RARP サーバーから取得することができるようになります。

IP アドレス

LAN カード・オプションを TCP/IP 環境で使用するためには、必ず設定する必要があります。ただし、IP アドレスを DHCP / BOOTP / RARP サーバーのいずれかから取得する設定にした場合には、設定する必要はありません。

サブネットマスク

LAN カード・オプションのサブネットマスクを設定できます。ルータを越えて TCP/IP 通信する場合には必ず設定してください。

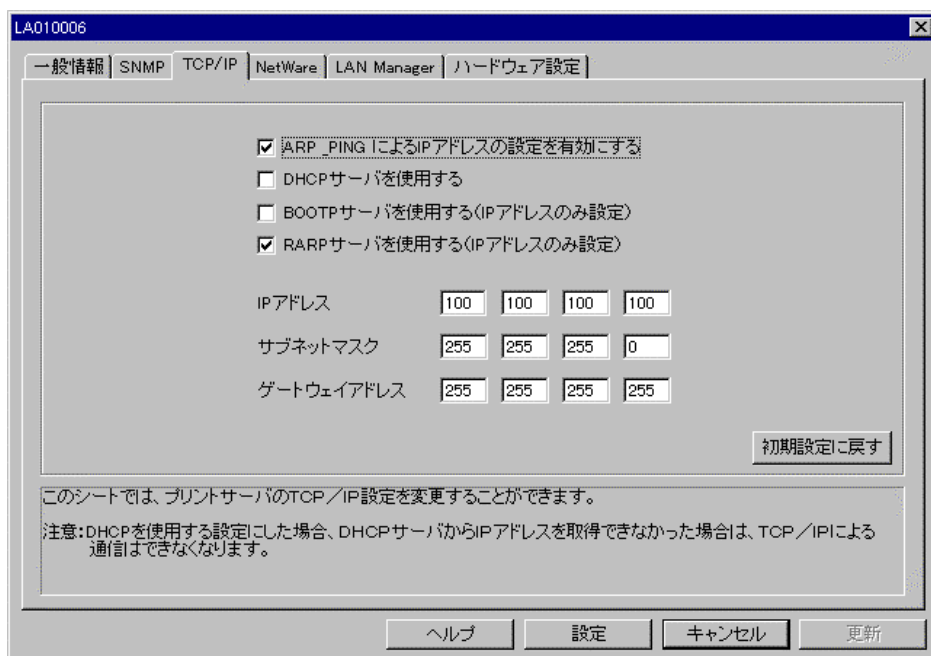
ゲートウェイアドレス

LAN カード・オプションのゲートウェイアドレスを設定できます。ルータを越えて TCP/IP 通信する場合には必ず設定してください。

初期設定に戻す

LAN カード・オプションの TCP/IP 設定を工場出荷状態に戻します。

【参考】RARP/BOOTP/DHCP サーバーを使用する場合の詳細に関しましては、LAN カード・オプション付属の「サポート CD」の LAN カード・オプションユーザーズマニュアル「第3章 TCP/IP」をご参照ください。



必要な情報を入力及びチェックして、「設定ボタン」をクリックしてください。「設定ボタン」をクリックすると、LAN カード・オプションにパラメーターを設定してから「プリントサーバーのリセット」画面が表示されますので、「はい」をクリックして設定したパラメーターを有効にしてください。

【注意】「更新ボタン」を実行した場合には、LAN カード・オプションの内部パラメーターは変更されますが、動作パラメーターとは異なりますので、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。

【注意】LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないとLAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

4. 「NetWare」シートで設定する

このページでは、LAN カード・オプションの NetWare 設定の変更を行うことができます。

NetWare を使用する

NetWare を使用する設定にします。

【注意】優先プロトコルが TCP/IP の場合のみ設定可能です。

【注意】NetWare でご使用にならない場合は、必ず「NetWare を使用する」のチェックを外してください。その他の設定になっていると、LAN カード・オプションは NetWare の仕様上、定期的に NetWare のパケットを送信します。その時に、ダイヤルアップルータなどで公衆回線で外部に接続されているようなご環境では、常に回線がつながった状態になる場合があります。

優先フレームタイプ

LAN カード・オプションが起動時にファイルサーバーを自動検索する際の優先順位を設定します。

<フレームタイプの検索順序>

IEEE 802.2 IEEE 802.3 ETHERNET II SNAP IEEE 802.2 ..

NetWare モード

リストから NetWare での動作モード(バインダリプリントサーバーモード/リモートプリンターモード/NDS プリントサーバーモード/待機モード)を指定します。選択した NetWare の動作モードにより表示項目が異なります。

<バインダリプリントサーバーモード>

ファイルサーバー名

バインダリプリントサーバーモードにて、LAN カード・オプションが初期化時にログインするファイルサーバー名を指定します。LAN カード・オプションをバインダリプリントサーバーモードで使用する場合は、必ず設定してください。

【注意】ファイルサーバー名を設定していない場合は、ネットワーク上のファイルサーバーにプリントサーバー名で設定した名前のプリントサーバーが存在していても、LAN カード・オプションはログインしません。また、ファイルサーバーが複数存在した場合に、

ここで指定されたファイルサーバー以外のファイルサーバーにプリントサーバー名で設定した名前のプリントサーバーが存在していてもログインしません。

プリントサーバー名

バインダリプリントサーバーモードでのファイルサーバーへの登録名を指定します。バインダリプリントサーバーモードではこの名前を使用してファイルサーバーにログインします。

パスワード

LAN カード・オプションがバインダリプリントサーバーモードでファイルサーバーにログインする場合のパスワードを設定します。

【注意】リモートプリンターモードの設定には使用しません。

プリンターポート/プリンター名(パラレル1)

LAN カード・オプションのプリンター名(ファイルサーバーに登録するプリンター名)を指定します。

【注意】バインダリプリントサーバーの設定後、NWADMIN/PCONSOLE でファイルサーバーにプリントサーバー/プリンターポート(+プリンターキューの割り当て)を登録してください。

<リモートプリンターモード>



NetWare プリントサーバー名

NetWare モードをリモートプリンターモードに設定した場合のみ有効となります。リモートプリンターモードにおいて、リモートプリンターがアタッチする NetWare プリントサーバー名を指定します。すでに登録されている NetWare プリントサーバー名も指定できます。リモートプリンターモードで使用する場合は、必ず NetWare プリントサーバー名を設定してください。

【注意】リモートプリンターモードで使用する場合には、別途 NetWare ファイルサーバー

で NetWare に付属の PCONSOLE / NWADMIN にてリモートプリンターの設定及び設定を行い登録したプリントサーバプログラムを起動する必要があります。

プリンターポート/プリンター名(パラレル1)

LAN カード・オプションのプリンター名(ファイルサーバに登録するプリンター名)を指定します。

社別識別子

ファイルサーバが 3.xJ の場合に、DOS クライアントから印刷する場合の社別識別子です。DOS クライアントからの印刷を行わない場合は設定不要です。

必要な情報を入力して、「設定ボタン」をクリックしてください。「設定ボタン」をクリックすると、LAN カード・オプションにパラメーターを設定してから「プリントサーバのリセット」画面が表示されますので、「はい」をクリックして設定したパラメーターを有効にしてください。

【注意】「更新ボタン」を実行した場合には、LAN カード・オプションの内部パラメーターは変更されますが、動作パラメーターとは異なりますので、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。

【注意】LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないと LAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

< NDS プリントサーバモード >

ツリー名

NDS プリントサーバモードでログインするツリー名を指定します。

コンテキスト名

NDS プリントサーバモードでログインするコンテキスト名を指定します。

プリントサーバー名

NDS プリントサーバーモードでのツリーへの登録名を指定します。NDS プリントサーバーモードではこの名前を使用してツリーにログインします。

パスワード

LAN カード・オプションがNDS プリントサーバーモードでツリーにログインする場合のパスワードを設定します。

【注意】リモートプリンターモードの設定には使用しません。

プリンターポート/プリンター名(パラレル1)

LAN カード・オプションのプリンター名(ツリーに登録するプリンター名)を指定します。

< 待機モード >



待機モードの場合は、LAN カード・オプションは定期的に NetWare ファイルサーバーの存在の有無を確認するためのパケットを送出しますが、NetWare ファイルサーバーにアタッチ及びログインを行いませんので、IPX 通信を使用して、「Network Utility」等の設定ユーティリティーから LAN カード・オプションに対して設定を行いたい場合に使用してください。工場出荷時設定は、待機モードに設定されています。

5. 「LAN Manager」シートで設定する

このページでは、LAN カード・オプションの LAN Manager 設定の変更を行うことができます。

LAN Manager を使用する

LAN Manager を使用する設定にします。

【注意】LAN Manager でご使用にならない場合は、必ず「LAN Manager を使用する」のチェックを外してください。

ホスト名(半角英数字15文字以内)

ネットワーク上での LAN カード・オプションの名称を指定してください。他の機器と同じ名前を使用することはできません。必ず固有の名前を指定してください。

ドメイン/ワークグループ名(半角英数字15文字以内)

使用するドメイン名またはワークグループ名を指定してください。

ベースプロトコル

LAN Manager で使用する下位プロトコル (TCP/IP 又は NetBEUI) を選択します。

タイムサーバー名 (半角英数字15文字以内)

LAN カード・オプションに設定したドメインのドメインコントローラーを指定してください (TCP/IP 使用時のみ)。タイムサーバー名を設定しなくても印刷には影響しませんが、プリントジョブ情報の時間が正しく表示されません。

WindowsNT 3.51/4.0 Server を使用していない場合やドメインの設定をしない場合は、このタイムサーバー名は無効です。

【注意】下位プロトコルで TCP/IP を選択した場合のみ設定可能です。

【注意】ホスト名、ドメイン/ワークグループ名、タイムサーバー名は、下記の半角記号は入力禁止文字です。入力された場合は、カーソルが先頭に戻りますが、これは「Network Utility」側で入力されないように処理を行っているためです。

" (ダブルクォーテーション) = (イコール) | (パイプ) ¥ (円マーク) + (プラス)
; (セミコロン) * (アスタリスク) : (コロン)] (大カッコ右) [(大カッコ左)
, (カンマ) < (不等号大なり) > (不等号小なり) ? (クエスチョンマーク)

WINS を使用する (下位プロトコル TCP/IP 選択時のみ有効)

WINS を使用する場合に、チェックしてください。

WINS をサポートしている環境では、WINS を有効にすることで LAN カード・オプションが起動時に WINS データベースにホスト名とその IP アドレスが自動的に登録され、ネットワーク内での名前の重複をさけることを可能にします。

【注意】ネットワーク上に WINS サーバーが存在しない場合は、有効にする必要はありません。

ルータを越えた印刷を行う場合には、ゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正しく設定する必要があります。

WINS サーバーアドレス (WINS を使用する選択時のみ有効)

WINS を使用する場合には、WINS サーバーの IP アドレスを設定する必要があります。

【注意】DHCP を使用して WINS サーバーの IP アドレスを取得する場合は設定する必要はありません。(この場合には、DHCP を有効にする必要があります)

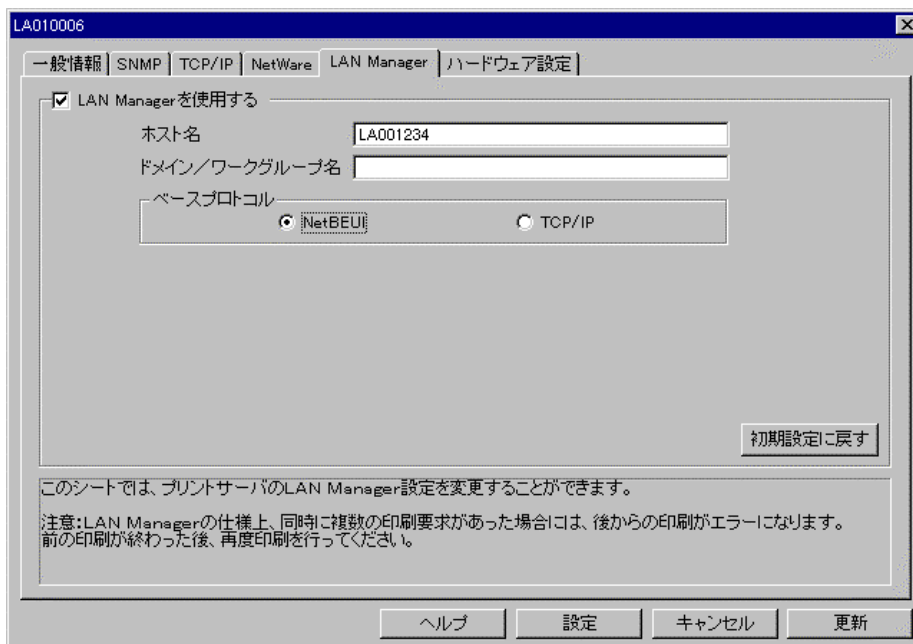
ただし、DHCP が有効であるにも関わらず、WINS サーバーの IP アドレスを取得できない場合があります。この場合は、WINS サーバーの IP アドレスを直接設定する必要があります。

【参考】LAN カード・オプションを LAN Manager で使用する場合の詳細に関しましては、付属の CD-ROM 「ETHERNET LAN CARD PROGRAM MANUAL」の LAN カード・オプションユーザーズマニュアル「第6章 LANManager」をご参照ください。

初期設定に戻す

LAN カード・オプションの LAN Manager 設定を工場出荷状態に戻します。

【注意】LAN Manager の仕様上、印刷中に別のクライアントより印刷要求があった場合には、後から印刷した JOB はエラーとなり印刷できません。前の印刷が終了した後、再度印刷を行う必要があります。



必要な情報を入力及びチェックして、「設定ボタン」をクリックしてください。「設定ボタン」をクリックすると、LAN カード・オプションにパラメーターを設定してから「プリントサーバのリセット」画面が表示されますので、「はい」をクリックして設定したパラメーターを有効にしてください。

【注意】「更新ボタン」を実行した場合には、LAN カード・オプションの内部パラメーターは変更されますが、動作パラメーターとは異なりますので、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。

【注意】LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないとLAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

6. 「ハードウェア設定」シートで設定する

このページでは、LAN カード・オプションのハードウェア設定の変更を行うことができます。

JetAdmin を使用する

Hewlett-Packard Company 製のネットワークプリンター設定管理ユーティリティ webJetAdmin にて、LAN カード・オプションに接続されたプリンターの情報（一部のみ）を参照できます。

【注意】webJetAdmin の使用方法は、Hewlett-Packard Company 製プリントサーバー JetDirect 付属のマニュアルを参照ください。

パラレル動作モード

LAN カード・オプションの電源 ON 時に、接続されているプリンターとのネゴシエーションの設定変更ができます。

【注意】LAN カード・オプションを ECP もしくは Nibble モードに固定した場合は、プリンターが ECP もしくは Nibble をサポートしていて、プリンターの設定と LAN カード・オプションの設定が一致している必要があります。この条件を満足しない場合は、ネゴシエーションエラーとなり印刷が行えません。

起動ディレイ (0 - 240sec)

LAN カード・オプション起動時の遅延時間の確認と変更を行います。

【注意】通常は変更する必要はありません。

【参考】スイッチング HUB をご使用の場合は、スイッチング HUB によって電源投入後にすぐに通信が開始されない場合がありますので、そのような場合に設定ください。

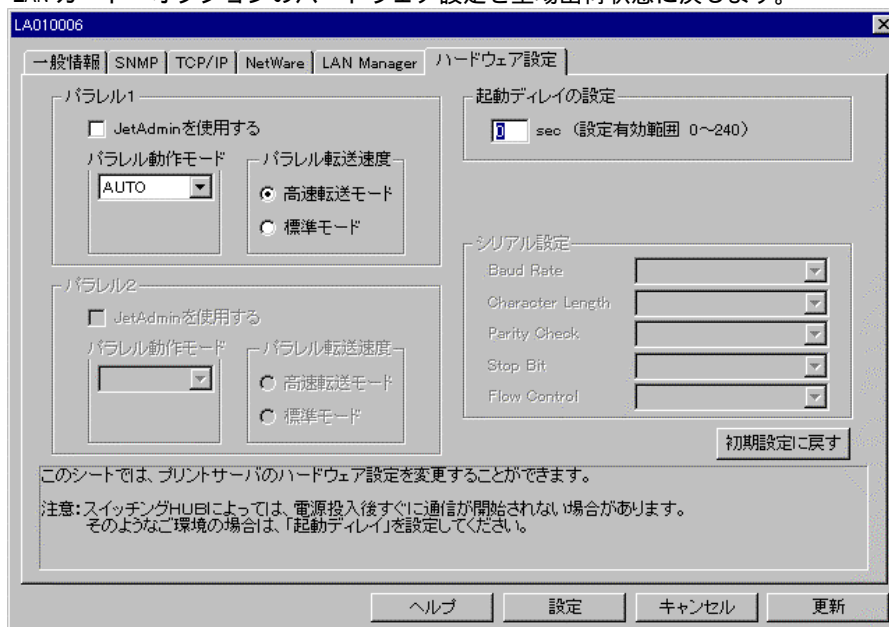
パラレル転送速度

LAN カード・オプションとプリンター間の転送速度を設定し、データの転送速度を 2 段階に設定できます。正常に印刷出来ない場合は「標準」に設定してください。

【注意】パラレル転送速度の設定は、パラレル動作モードが、ECP の場合は無効です。

初期設定に戻す

LAN カード・オプションのハードウェア設定を工場出荷状態に戻します。



必要な情報を入力して、「設定ボタン」をクリックしてください。「設定ボタン」をクリックすると、LAN カード・オプションにパラメーターを設定してから「プリントサーバーのリセット」画面が表示されますので、「はい」をクリックして設定したパラメーターを有効にしてください。

【注意】「更新ボタン」を実行した場合には、LAN カード・オプションの内部パラメーターは変更されませんが、動作パラメーターとは異なりますので、プロパティシート上で「設定ボタン」をクリックする/メインウィンドウで「設定」「リセット」のどちらかを必ず実行してください。

【注意】LAN カード・オプションの「SNMP」シートを除く設定パラメーターを変更してリセットを実行しないとLAN カード・オプション内部の設定パラメーターは変更されていますが、実際に動作しているパラメーターが異なることになり、トラブルを引き起こす原因となることがありますので、必ずリセットを実行してください。

3.1.3.2. IPアドレスの設定について

同一セグメント内の LAN カード・オプションに対して、IP アドレスの設定を変更することができます。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 4」

IP アドレスの設定変更を行いたい LAN カード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「IP アドレスの設定」を実行するか、右クリックで「IP アドレスの設定」を実行することにより LAN カード・オプションに関する IP アドレスの設定を行うことができます。

【注意】 IP アドレスを設定するには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。

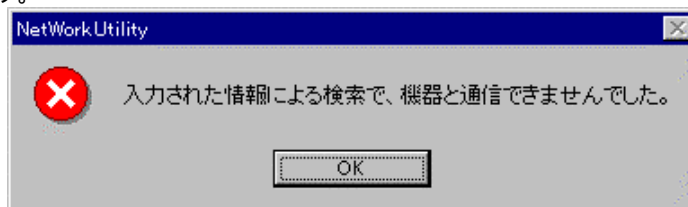


LAN カード・オプションに設定したい IP アドレスを入力して OK ボタンを押して下さい。設定が終了すると下記のメッセージが表示されます。



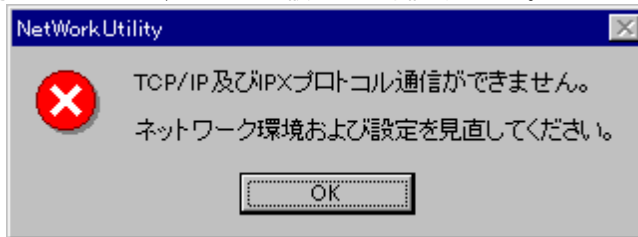
【注意】 ブロードキャストにて IP アドレスを設定しますので、LAN カード・オプションとクライアント PC は同一セグメントに存在する必要があります。

同一セグメント以外の IP アドレスを設定した場合は、通信ができないため下記のメッセージが表示されます。



【注意】 LAN カード・オプションに、予めゲートウェイアドレスとサブネットマスクを正確に設定されている場合は、同一セグメントの IP アドレスを設定する必要はありません。

「Network Utility」を起動している PC に TCP/IP がインストールされていない場合は下記のメッセージが表示されますので、PC の NIC 設定をご確認ください。



【注意】 TCP/IP 環境であっても、LAN カード・オプションがデバイスリストウィンドウで IP アドレス表示が空欄（認識されていない）場合は、このエラーメッセージがでます。この場合には、「表示」「最新情報に更新」を実行して、IP アドレスが表示されたことを確認してから再度実行してください。

3.1.3.3. エラー履歴のクリアについて

エラー履歴のクリアを行いたい LAN カード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「エラー履歴のクリア」を実行することにより LAN カード・オプションに関するエラー履歴のクリアを行うことができます。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 4」

【注意】エラー履歴のクリアを行うには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。



エラー履歴をクリアしたい場合には、clear ボタンを押して下さい。エラー履歴がクリアされると 40 番地 ~ 45 番地までが全て「FF」になります。

【参考】LAN カード・オプションにエラー（FF 以外の値）履歴がある場合の対応に関しましては、付属の「サポート CD」の LAN カード・オプションユーザーズマニュアル「付録 A 故障診断」をご参照ください。

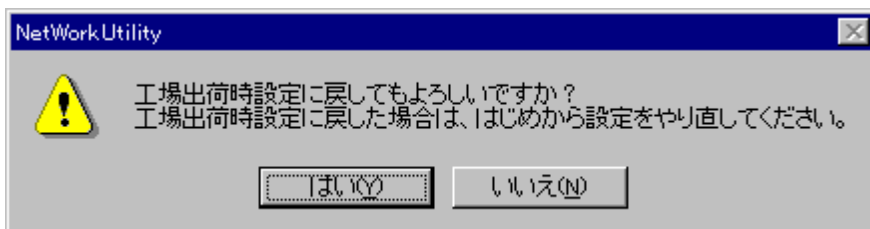
3.1.3.4. 工場出荷時に戻すについて

工場出荷時設定に戻したい LAN カード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「工場出荷時に戻す」を実行することにより工場出荷時設定に戻すことができます。

【制限】「1.2. Network Utility での制限事項 4」

【注意】工場出荷時に戻すを実行するには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。

コマンドを実行すると下記メッセージが表示されますので、出荷時設定に戻す場合は「はい」をクリックしてください。「はい」を実行すると、工場出荷時設定に戻してリセットされます。ただし、IP アドレス体系はリセットされません。その他の必要な設定を再度行ってください。



【注意】「Network Utility」のコミュニティ名の設定が、LAN カード・オプションのデフォルト設定と異なる場合は、出荷時設定に戻した LAN カード・オプションがリストに表示されません。「Network Utility」のコミュニティ名と LAN カード・オプションのコミュニティ名を合わせて下さい。

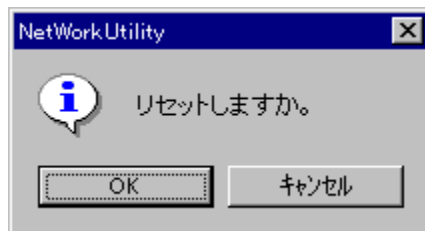
【参考】LAN カード・オプションでトラブルが発生した場合に、原因が不明ではじめから設定をやり直したい場合にご利用ください。

3.1.3.5. リセットについて

ソフトウェアリセットを行いたい LAN カード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「リセット」を実行することにより LAN カード・オプションをソフトウェアリセットすることができます。

【注意】リセットを行うには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。

コマンドを実行すると下記メッセージが表示されますので、リセットする場合は「OK」をクリックしてください。



【参考】LAN カード・オプションで動作が不安定な場合にリモートでリセットする場合や、設定を変更した場合に設定を有効にする際などにご利用ください。

3.1.3.6. アップグレードについて

LAN カード・オプション用の最新のファームウェアを入手して、PC 上の任意のフォルダ内に保存してください。

コピーするフォルダ (例) "C:¥LANCARD¥V100"

コピーするファイル : rs.bin

【制限】「1.2. Network Utilityでの制限事項 4」

アップグレードを行いたい LAN カード・オプションをデバイスリスト上で選択し、「設定」「アップグレード」を実行することにより LAN カード・オプションのアップグレードを行うことができます。

優先プロトコルの設定によって、「Network Utility」が自動的にプロトコルを判断して、製品専用のバージョンアップユーティリティを起動します。

TCP/IP によるバージョンアップの場合は、LAN カード・オプションに設定した IP アドレスを使用します。IPX によるバージョンアップの場合は、LAN カード・オプションの MAC アドレスを使用します。(ルータ越えダウンロードの場合は、ネットワーク番号の入力が必要です)

- 【注意】 IPX/SPX 用ユーティリティを使用する場合は、ファイルサーバーにログインしている必要があります。
- 【注意】 アップグレードを行うには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。



ダウンロードする場合は、OK ボタンを押すと下記の画面が表示されますので、LAN カード・オプションに設定してある IP アドレスを入力し OK ボタンを押して下さい。



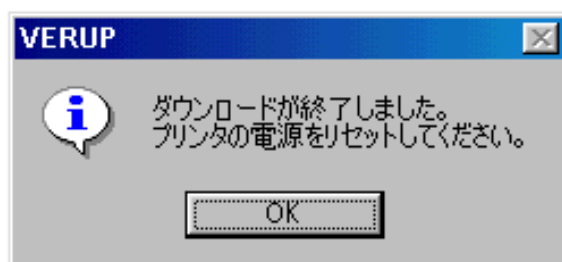
ダウンロードファイルが、存在しない場合は、下記のエラーメッセージを表示します。



ダウンロードファイルが存在する場合は、現在のファームウェアのバージョンとダウンロードするファームウェアのバージョンの確認メッセージを表示しますので、バージョンが正しい場合は、OK ボタンを押すとバージョンアップモードへ移行し、ダウンロードが開始されます。



ダウンロードが正常に終了すると下記メッセージが表示されます。
LEDを確認してから、LANカード・オプションが挿入されているプリンターの電源を再投入してください。

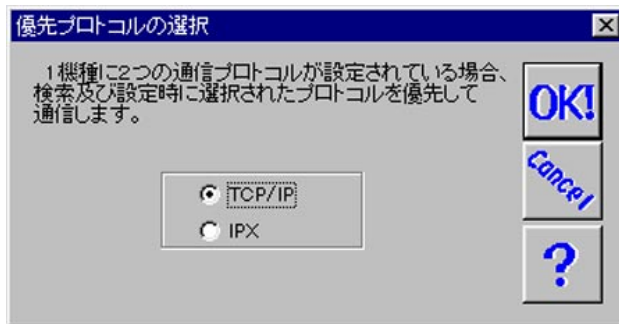


「OK」をクリックすると、バージョンアップはこれで完了です。

【注意】 LANカード・オプションをアップグレードした後に、プリンターの電源を再投入しないとLANカード・オプションと通信ができませんのでご注意ください。

3.1.3.7. 優先プロトコルの選択について

「Network Utility」が、ネットワーク機器と通信する場合に、そのネットワーク機器が TCP/IP、IPX/SPX の両方をサポートしている場合にどちらを優先するかを選択することができます。「設定」 「優先プロトコルの選択」を実行して、どちらを優先するか選択して、「OK」をクリックしてください。



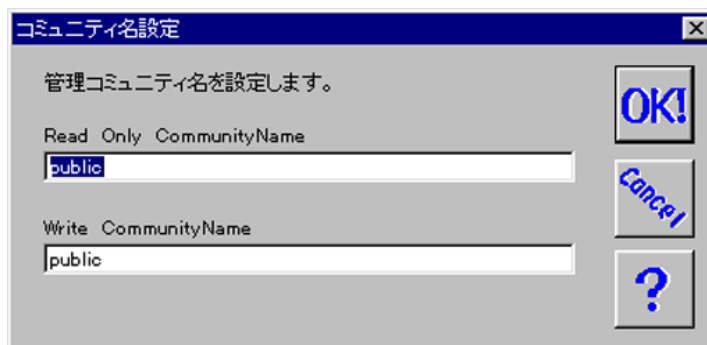
【注意】「Network Utility」がインストールされている PC の NIC 設定で TCP/IP、IPX/SPX が予めインストールされている必要があります。

3.1.3.8. コミュニティ名の設定について

「Network Utility」で LAN カード・オプションと SNMP 通信するために必要な CommunityName を設定します。

CommunityName には 2 種類あり、一つは LAN カード・オプションに設定を行うための WriteCommunityName で、もう一つは LAN カード・オプションの情報を取得するための Read Only CommunityName となっています。

【注意】コミュニティ名の設定を行うには、「Network Utility」を管理者モードで起動している必要があります。



【注意】LAN カード・オプションに設定されている SNMP COMMUNITY NAME と異なる設定を行うと LAN カード・オプションと通信（情報の取得 / 設定）が行えなくなります。

3.1.4. 「ヘルプ」メニューを使用する

ここでは、メインウィンドウにあるメニューの「ヘルプ」で実現する機能について説明します。



ヘルプトピックス

「Network Utility」に関するヘルプが起動します。

【注意】「設定」「プロパティ」で開かれるプロパティシートに関するヘルプは、プロパティシート上の「ヘルプ」ボタンを押すことで起動されます。ここで、起動するヘルプとは異なります。

バージョン情報

「Network Utility」のバージョンが表示されます。



3.1.5. ツールバーについて

ここでは、ツールバーで実現する機能について説明します。

ツールバーは、デバイスウィンドウでデバイスを選択していない場合と選択している場合で表示が異なります。

デバイスウィンドウでデバイス選択されていない場合

デバイスウィンドウでデバイスが選択されていない場合（反転表示していない）には、下記のようにツールバーは表示されます。



デバイスウィンドウでデバイス選択されている場合

デバイスウィンドウでデバイスが選択されている場合（反転表示している）には、下記のようにツールバーは表示されます。



ファイルを開く

以前に保存していた「情報ファイル」を開きます。メニューの「ファイル」「開く」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.1. 「ファイル」メニューを使用する」をご参照ください。

名前を付けて保存

取得したデータを3種類の保存形式で保存します。メニューの「ファイル」「名前を付けて保存」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.1. 「ファイル」メニューを使用する」をご参照ください。

新規グループ作成

「グループリストウィンドウ」にユーザー定義のグループを追加します。メニューの「ファイル」「新規グループ作成」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.1. 「ファイル」メニューを使用する」をご参照ください。



最新情報に更新

「デバイスリストウインドウ」の情報を更新します。メニューの「表示」「最新情報に更新」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.2. 「表示」メニューを使用する」をご参照ください。



検索

ネットワーク上の機器をスキャンします。メニューの「表示」「検索」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.2.4. 検索の使用方法について」をご参照ください。



ステータス

「デバイスリストウインドウ」で選択されたネットワーク機器の情報を表示します。メニューの「表示」「ステータス」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.2.2. ネットワーク機器のステータス表示について」をご参照ください。



プリンターステータス

「デバイスリストウインドウ」で選択されたネットワーク機器が、PRINTER-MIBを搭載している場合には、プリンターステータスを表示します。メニューの「表示」「プリンターステータス」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.2.3. プリンターステータス表示について」をご参照ください。



プロパティ

「デバイスリストウインドウ」で選択されたネットワーク機器が、LANカード・オプションの場合には、プリントサーバーの設定を行うことができます。メニューの「設定」「プロパティ」と同じ動作をします。詳細は、「3.1.3.1. LANカード・オプションの設定について」をご参照ください。



ヘルプ

「Network Utility」のヘルプが起動します。